

2026年4月1日に「共学化後初」の入学式を挙行 — 初めて男子学生を迎え、「WELL-BEING な社会の共創」へ新たな一歩 —

京都光華女子大学/京都光華女子大学短期大学部（所在地：京都市右京区、学長：高見 茂）は、2026年4月から男女共学化するとともに校名を「京都光華大学」へ変更し、4月1日（水）に、共学化後初となる入学式を挙行します。本学は創立86年の歴史を通じて、女性が学び社会で活躍する土台を築いてきました。今回の入学式では新入生 687 名（予定・前年度 513 名）、その内本学として初めて男子学生（108 名予定）を迎え、新たなステージへ踏み出します。

■ 共学化の背景—仏教精神の原点に立ち戻り、「Well-Being な社会」を共に創る

本学園は 1940 年の創立以来、建学の精神である仏教精神に基づく人間教育を行い、多くの女性を社会へ送り出してきました。一方で、近年は男女の進学率がほぼ同じになるなど、社会の状況は大きく変化しています。また、グローバル化やデジタル化が進むなかで、人と人との価値観の違いや経済格差による分断、持続可能な社会の実現といった新たな課題も生まれています。

こうした時代の変化をふまえ、本学は建学の精神を現代社会の中で具現化をめざす宣言として「STAY BONBU,CO-CREATE WELL-BEING.」を掲げ、それを進めるべく男女共学化を決定しました

【STAY BONBU, CO-CREATE WELL-BEING.とは】

永遠でも絶対でもないものにすぎり、足ることを知らず、常に他人と比較して不安を抱え、苦しむ存在——。

これこそが煩惱から逃れることのできない人間の本質であり、「私」自身の姿（凡夫）であったのだとの気づき。

そして、その気づきによって、私たち人間の本質的な願いとは、お金や地位、成功や賞賛、「好かれない」といった表面的な欲望そのものではなく、それらの欲望を生み出す「不安から解放され、自分の存在を受け入れてもらいたい」、「安心して健やかに暮らしたい」という願いであり、それが「私」自身の願いでもあったのだと理解するに至る（安心（あんじん）、WELL-BEING）。

こうした気づきを促すのが、校訓に「真実心」を掲げ、仏教、特に親鸞聖人が明らかにされた真宗の教えを基盤とする光華教育の根幹です。

「STAY BONBU, CO-CREATE WELL-BEING」とは、社会のさまざまな方々とともに、人間の本質的な願いである WELL-BEING な社会を目指し、共に歩み続ける（共創する）学園でありたい、という宣言です。

■ 共学化で広がる学び—多様性のなかで育む「思いやり」と協働の力

共学化により、学生同士が性別や背景の違いを越えて学び合う機会が広がります。異なる視点が交わる学びの環境は、相手の立場に立って考える「思いやりの心」を実践の中で磨き、対話と協働によって課題解決へ向かう力を育む土台となります。

本学は、地域や社会とのつながりの中で学ぶ機会を充実させながら、人間の本質的な願いである WELL-BEING をめざす「健康・未来創造キャンパス」を推進し、一人ひとりが社会を支える力となる大学へ進化していきます。

■ 入学式 概要

日 時：2026年4月1日（水） 10：00～開式

会 場：京都光華大学（京都市右京区西京極葛野町 38）光風館 講堂

入学者：687 名（女子 579 名、男子 108 名）※予定、大学・短大・大学院・専攻科 合計

報道各社におかれましては、共学化後初めての入学式ならびに本学の新たな歩みについて、ぜひご取材・ご掲載賜りますようお願い申し上げます。

《取材に関するお問い合わせ》

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] https://www.koka.ac.jp/

2026年4月共学化！
「京都光華女子大学」から
「京都光華大学」へ

STAY BONBU,CO-CREATE WELL-BEING.

世代を超え、願いをつなぎ続ける学園を目指して

Well-Being な社会を実現するためには多様な人々が手を取り合い共創することが必要です。その共創のスキルを学生が育めるよう、本学園はジェンダーの壁を取り払い、男女共学化、おもいやりの心で互いを尊重し、あらゆる人と共創できるキャンパスに進化します。